

緊急事態宣言時のBCP発動に関する考え方（案）

川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部事務局

1 感染症の違いに応じたBCP発動のタイミング

(1) 新型インフルエンザの場合

- ・新型インフルエンザは即座に発症するため、役所に来る人（職員、市民）は基本的に「健康な人」と考えられている。
- ・このため、BCPの発動は「健康な人が少なくなってきた時」が前提となる。

(2) 新型コロナウイルスの場合

- ・新型コロナウイルスの感染者の8割が無症状か軽症であるという報告がされていることから、早めに手を打たないと気が付かないうちに感染が広がり、オーバーシュートしてしまう。つまり「健康な人が少なくなってきた時」に発動していたのでは遅い。
- ・「見えない罹患者」の行動抑制が必要となるため、3つの要素が重なる場の回避と同時に必要な福祉の両立を図るなど、より柔軟な対応が必要となる。

2 新型コロナウイルスの特性を踏まえたBCPの方向性（全庁共通）

(1) 不要不急の業務は積極的に休止し、余剰職員を確保する。

例) イベントの中止、感染症対策とならない新規企画等の休止

(2) 人が集まる動きを一定程度抑制する。

例) 貸館業務の中止、窓口サービスの郵送化、業務ローテーションによる職員の自宅待機

(3) 人員の再配置

例) 過重業務への支援、子育てや介護を行っている職員の出勤義務の緩和

(4) 非常時優先業務の最適化

例) 虐待やDV等の防止に繋がる業務の継続、閉じこもり防止のための業務の継続

3 各部のミッション

部名	取組の方向性
総務企画部	労務管理や人事、戦略的な広報に注力する。
財政部	財政運用や税関係業務を安定的に継続する。
市民文化部	区役所を支援するとともに、市民生活の安定確保に注力する。
経済労働部	中小企業支援、雇用対策に注力する。
環境部	廃棄物処理を安定的に実施する。
健康福祉部	感染症対策、保健医療調整、福祉の確保に注力する。
こども未来部	保育所や青少年施設等の運営管理、母子保健、虐待対策に注力する。
まちづくり部	施設の維持管理に注力する。
建設緑政部	施設の維持管理に注力する。
港湾部	施設の維持管理に注力する。
臨海部国際戦略本部	施設の維持管理に注力する。

会計部	支出審査を適正に実施する。
区本部	市民生活の安定確保に資する窓口業務の適正化を図る。
上下水道部	上水道事業の安定的な運用を行う。
交通部	交通抑制が無い限り、市バスの運行を継続する。
病院部	市立病院の運営および保健医療調整本部との連携に注力する。
消防部	救急業務を安定的な運用および保健医療調整本部との連携に注力する。
教育部	生涯学習事業は縮小し、学校運営および児童生徒への対応に注力する。
応援部	他局への応援に注力する。
議会部	議員への情報提供など、議会運営の適正化に注力する。